

# ワガッ 園だより

令和4年7月1日

南流山幼稚園

失敗を慈しむ（いたわりの感情を育てる）

♪人は悲しみが深いほど、人にはやさしくできるのだから♪この詩の一節は、私がいつも中学生に紹介していたものです。いまはつらいけど、心がもっとやさしく強くなれるんだよと。どこまで理解されたかは知るよしもないのですが・・・。幼稚園では、悲しみというより、小さなつまずきや失敗を随所で経験しています。私達職員はいつでもどこでも失敗を慈しんでいます。幼稚園も小学校も中学校も高校でも大学でも失敗が許されるのが学び舎だと信じています。

私の尊敬する作家の一人である司馬遼太郎氏がなくなる前に残した言葉があります。それは「自己の確立」という考えです。簡潔に言えば、自分に厳しく、相手にやさしくというものです。相手にやさしくできるためには、「いたわりの感情」が湧き出てくるかどうかには尽きると思いません。幼稚園では、毎日この感情を鍛えています。「相手がころんだ」のを見て「痛かったろうな」と想像できるように、痛かっただろうねと子どもたちに話しかけます。時には、真剣な表情で相手の気持ちを伝えることもあります。たとえその場でわからなくても、「これをしたら、先生は真剣になる」ということを感じ取れるようにしています。いたわりの感情を育てるためには、訓練が必要だと思います。

家庭生活において叱る場面の中で最も大切なのは「いたわりの気持ち」が感じられないその瞬間です。たとえ4歳でも15歳でも、その時こそ親の出番なのです。怒るのではありません、我が子の幸せを願って叱るのです。叱ることに手抜きがあってはなりません。また、「いたわりの気持ち」を我が子の言動に見いだしたときは、ぎゅっと抱きしめる、心からほめる、これは子育てのかけがえのない瞬間なのだと思います。

乳児期には、肌を離すな。幼児期になったら肌を離して、手を離すな。思春期になったら手を離して、目を離すな。青年期以降は目を離して、心を離すな。子育ては美しき戦いです。保護者の皆様の日々の頑張りを心から応援しています。

さて、6月の父の日プレゼントづくり、父のだいすきなところは？

①ごはんをつくってくれたりするところがだいすき。

②ぜんぶだいすき。

③わらっているところがだいすき。

④いっぱいおはなししてくれるところがだいすき。

園長より

\* 7月19日(火)、7月20日(水)、7月21日(木)、7月22日(金)は午前保育となります。

\* 夏祭りごっこを学年別を実施します。楽しいゲーム満載です。当日は、一人ひとりの園児におもちゃをプレゼントします。

\* 7月19日(火)と7月20日(水)は7月のリサイクル日です。ご協力をお願いします。

\* 9月の予定は、7月22日(金)発行の園便りに載せます。

7月の主な行事予定			
1・金	おばけ大会・バイオリン鑑賞(年長)	14・木	夏祭り(年長)
7・木	七夕の会	15・金	夏祭り(年少)
8・金	笹燃やし	19・火	午前保育開始
12・火	夏祭り(年中)	22・金	第1学期終業式

たなばたで準備しました、素敵な「星に願いを」

- ①みんなとともだちになれますように
- ②やさしいおかあさんになれますように
- ③ちよこれーとになれますように
- ④いえのおてつだいじょうずにできますように
- ⑤かぞくみんなでなかよくすごせますように
- ⑥おかあさんみたいにやさしくなれますように



8月の主な行事予定			
23・火	夏季保育(午前保育)	25・木	夏季保育(1日保育)
24・水	夏季保育(1日保育)	26・金	夏季保育(1日保育)

